

【事務事業調査】

事務事業名	歴史文化活動支援事業費			予算科目 コード	会計-款-項-目-事業 001-10-04-04-0003-01-01-0
担当部課	教育部 生涯学習課	担当 係長	文化・公民館係 鈴木 陸夫	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か?	どのような成果が現れます(現れました)か?
計画	<p>H23 事後評価</p> <p>○町の文化・芸術の普及・発展を図るため、文化・芸術団体が開催する発表会や展覧会、展示会等の支援を行いました。○歴史民俗資料館では、歴史関係に加え、町に係わる様々な文化、芸術、事象についての展示や企画展を開催しました。</p> <p>H25 事前評価</p> <p>○町の文化・芸術の普及・発展を図るため、文化・芸術団体が開催する発表会や展覧会、展示会等の支援を行います。○歴史民俗資料館では、歴史関係に加え、町に係わる様々な文化、芸術、事象についての展示や企画展を開催します。</p>	<p>○文化・芸術活動の発表の場を設けることで、広く町民に紹介することができます。</p> <p>○地道に文化・芸術活動をしている町民を発掘することで、本町の芸術文化の普及・啓発につながります。</p>
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
歴史民俗資料館企画展入場者数	9,000人		H21入場者数 8,954人 H22入場者数 9,672人 H23入場者数 8,617人

■事業費(計画)

【単位:千円】

細 節	金 額	積 算 根 拠
1 報償費	80	企画展講師謝金等 @8,000×10回
2 消耗品費	26	企画展色紙 10,000円 遺物整理・展示用品(発泡材、プラスチック、ペニヤ等) 6,000円 企画展会場設営用 消耗品一式 10,000円
3 印刷製本費	144	企画展広報用チラシ @36×2,000枚×2回
4 委託料	140	企画展資料運搬委託(県立博物館～町歴史民俗資料館) @70,000×2回(往復)
5 交付金	1,000	町文化祭開催事業交付金
6		
7		
8		
	1,390	

■事業費(実績)

【単位:千円】

細 節	金 額	特 記 事 項
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	1,390		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	1,390		

■補助金等名:町文化祭開催事業交付金

■補助事業者等:町文化祭開催委員会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	5	周知広報により、広く住民から作品を募集し展示や発表に供します。特定の個人や団体のみが利益を受ける事業ではありません。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	3	各人が日頃から行っている習い事等の発表の場であり、本町文化発展の指標になる催事です。発表に向け、個人に関しては生きがいの創出になり、いきおいの町づくりに寄与できます。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	4	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	既存団体の活動は阻害しない。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	5	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	5	補助要綱に明記。実績報告書に領収書の写しを添付。
		■予算の見積が適正である。	3	
5	適格性	■実施体制が明確である。	5	開催団体が組織化されており、本交付金が開催に不可欠であることを理解し、自主努力はしているものの高齢化が進んでいる。後継者が育たない悩みがある。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	3	
合計点数		43		
総合評価		継続		